

『バッタの天井効果』

会津バスケットボール協会理事長 室井 富仁

野生のバッタはジャンプするともものすごく高く跳べる。しかし、それを虫かごにしばらく入れておくと、ジャンプしても天井にぶつかってしまうので、いつしかジャンプ力がなくなってしまう。天井が高ければもっともっと高く跳べる可能性があるのに。

私たち人間も同じである。目標が高ければ高いほど、それに見合った努力をして向上していく。それに対して目標が低ければ、バッタと同じようにせっかくすばらしい可能性があるのに、向上する努力を忘れてそれなりで終わってしまう。

私は人生の大切なことをすべて高校時代のバスケットボールから教わった。特に高い目標を持つことは、会津の田舎生まれ、田舎育ちの人間が全国、世界レベルにチャレンジするためには絶対避けては通れない通過儀礼である。実は、自分の可能性なんて自分にだってわからない。だから自分で自分を決めつけてはいけない。どこで、どのように大化けするかは神のみぞ知る。来るべきXデー（大化けの日）のために、あえて高過ぎる目標を携えて日々、努力鍛錬して準備するのみ。たとえ今が二流でも目指すは常に超一流。そうでなければ、たった一度の人生、もったいなくて仕方がない。

映画「女バス」の原作『ハート・オブ・ザ・チーム』の著者ビル・レスラーは言う。

「目標が達成されるということはある意味では失敗でもある。私は選手達に毎シーズンのように言う。つまり、目指す地点が低すぎたということになるのだ。ポテンシャルを発揮するためには、到達不可能と思われる高い地点を目指し、自らを安全圏の外に押し出す必要がある。それが私たちを進化させる方法だ」。

かつてオバマ・アメリカ大統領が初めて大統領選挙に勝った時のキーワード「チェンジ」。変わること。もちろん進化、向上、成長で変化することである。そのためにも高い目標が必要だ。高い目標を実現させるためには大変なことがたくさんある。「大変」なことは読んで字の如し「大きく変わる」こと。また、大きく変わるには辛いことがたくさん待ち受けているかもしれない。しかし、「辛い」という字に「一」を付け加えると「幸」の字に変わる。辛くなっても一踏ん張りすれば幸せになれる。言葉は言霊となって勇気づけてくれる。

バスケットボールによって毎日の人生を楽しみ、チームメイトとの絆を作り上げてくれる。バスケットボールコートは人生において必要なことをすべて教えてくれる。卒業後何十年たっても、かつて母校のバスケットボール部の一員であったことを誇りに思えるような学校生活にしてほしい。子どもたち、生徒達、そして私達のバスケットボール生活が人生においてかけがえのない宝物になりますように。